

算数オンライン塾 6月8日の問題 解説

(解説)

(1)

A を卒業した人数を A、B を卒業した人数を B、C に入学した人数を C、D に入学した人数を D とすると、

$$A+B=C+D$$

最初の条件から $A=C+6$

二番目の条件から $B=【8】$ とすると B から C に行った人数が【3】、B から D に行った人数が【5】

$$\text{三番目の条件から } A+B=(25)+(32)=C+D=<8>+<11>$$

ということになります。

$$\text{そこで、一番最後の整理から } (25)+(32)=(57)=<8>+<11>=<19>$$

$$<1>=(3) \text{ ですから、} C=(24) \quad D=(33)$$

$$\text{ここで最初の条件から } (25)=(24)+6 \text{ なので } (1)=6$$

したがって (1) は $6 \times 24=144$ 人になります。

(答え) 144 人

(2)

$$B=32 \times 6=192 \text{ 人} \quad \text{二番目の条件から}$$

$$B \rightarrow C \quad 192 \times 3 / (3+5) = 72 \text{ 人} \quad B \rightarrow D = 192 - 72 = 120 \text{ 人}$$

$$D=6 \times 33=198 \text{ 人}$$

なので $198-120=78$ 人 から D に進学した児童の数です。

(答え) 78 人